ホームページのご案内

株式会社ベルパークのホームページでは、会社概要や投資家情報、月次販売台数など、当社に関する様々なコンテンツをご用意しております。

トップページ http://www.bellpark.co.jp
IRページ http://www.bellpark.co.jp/ir

JASDAQ
Listed Company 9441

Bell-Park

株式会社 ベルパーク

VEGETABLE OIL INK
地球環境に配慮した植物油インキを使用しています

2010.1.1-2010.12.31 Bell-Park 18th Business Report

CONTENTS

株主の皆様へ…… 1
TOPICS …… 2
事業環境見通し…… 3
中期経営方針…… 4
事業所・店舗一覧…… 5
財務ハイライト…… 7
要約財務諸表…… 8
株式情報…… 9
会社概要等／株主メモ ……10

代表取締役社長　**西川　猛**

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、この度の「東北地方太平洋沖地震」により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。
被災された株主並びに被災地の皆様に対し、心からお見舞いを申し上げるとともに一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

ここに、ベルパークの第18期（2010年１月１日～2010年12月31日）の「ビジネスレポート」をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社が販売する携帯電話の移動体通信事業者であるソフトバンクモバイルは、新規販売においては「iPhone」、デジタルフォトフレームの「Photo Vision」、データカード等が好調に推移いたしました。さらには、CMブランディング評価No.1を４年連続獲得するとともに、電波改善宣言を推進し電波改善の進捗状況を公開する等積極的な施策を展開し、加入者純増数の年間No.1を３年連続で獲得しております。

このような事業環境の中で、当社はソフトバンクモバイルの積極的な施策が最大の効果を生みだすよう、ソフトバンクモバイルの求める施策を早期に販売現場に徹底させました。また、新規販売と機種変更を合算した総販売台数を確保するために、積極的な販売促進活動に取り組みました。また、当事業年度において直営のソフトバンクショップを新たに４店舗出店し、好立地への移転も６店舗行いました。これにより当社の店舗数は、直営129店舗、フランチャイズ50店舗の合計179店舗となりました。

この結果、当事業年度における販売台数は、新規販売台数357,482台（前事業年度比61.7％増）、機種変更台数272,635台（同16.5％増）、総販売台数630,117台（同38.5％増）となりました。当事業年度の総販売台数計画60万台に対する進捗率は105.0％となり、総販売台数、売上高はいずれも過去最高となりました。

しかしながら、ソフトバンクモバイルからの手数料条件が前事業年度に比べて悪化し、総販売台数の伸びが売上総利益の増加に繋がらず、また当事業年度に119名の新卒者を採用する等積極的な人材投資を行ったため、販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益、経常利益及び当期純利益は前事業年度比で減少いたしました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高60,168百万円（前事業年度比28.3％増）、営業利益2,905百万円（同18.8％減）、経常利益2,893百万円（同18.5％減）、当期純利益1,659百万円（同18.9％減）となりました。

当社の考える携帯電話端末のこれからは、スマートフォンとスマートパッドの時代を迎え、「モバイルインターネットの進化」が急速に進むと予測しております。当社は、これまでの「ケータイの販売代理店」からお客様の「Best Mobile Concierge」（ベストモバイルコンシェルジェ）を目指してまいります。

インフラ面では、今の３G（第３世代携帯電話）から3.9G（※LTE）、つまり第４世代携帯電話の一歩手前の高速サービスが間もなく始まります。また、モバイルインターネット時代を迎えるにあたり、電波品質の向上が期待されており、ソフトバンクモバイルは基地局倍増、Wi-Fiスポットの拡充等の電波改善宣言の推進により、電波環境の改善が見込まれます。

これらの実現により、高速無線LAN環境やコンテンツの充実がなされ、スマートフォンで雑誌や新聞を読んだり、授業を受けたり、仕事をしたり、放送を楽しんだりする時代はすぐそこに来ていると信じております。一方、携帯電話の販売業界は、これからも統合、買収、淘汰が起こり、人材の質と生産性と財務に優る企業に大きなチャンスが来ると予測しております。当社は、本業に邁進し、年度毎の収益をきちんと上げ続け、財務体質の一層の強化を行い、堅実な規模の成長を重ね、優秀な人材を育ててまいります。

株主・投資家の皆様には、何卒、変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2011年３月

※LTE（Long Term Evolution）：携帯電話の新たな通信規格

■ ソフトバンクショップ新規出店・移転情報

		新店	移転	取得
2010年	２月		佐倉臼井	
	３月	イオンモール新瑞橋	イオン富士宮SC　※FC店	
	５月		柏	
	７月	イオン扶桑SC 新宿（移転）	成城学園 服部	
	８月		河辺	
	９月		イオンモール寝屋川グリーンシティ	
	11月	ザ・モール仙台長町		
2011年	１月		平井	
	３月	イオン大垣SC　※FC店	所沢中央	センター北

ソフトバンク新宿

■ アップルプレミアムリセラー新規出店情報

2010年	１月	吉祥寺ストア

■ ウィルコムプラザ新規出店情報

2011年	２月	経堂
	３月	プレナ幕張

■ IR情報

アナリストカバレッジ

立花証券
日興コーディアル証券
マッコーリーキャピタル証券
三菱UFJモルガン・スタンレー証券

当社のカバレッジを行っており、立花証券及び日興コーディアル証券並びに三菱UFJモルガン・スタンレー証券は当社に対する定期的なレポートの発行を行っております。

企業レポート

シェアードリサーチ社が当社の企業レポートを発行しております。
URL:www.sharedresearch.jp

メディア情報

2010年12月７日（火曜日）放送のテレビ東京「ガイアの夜明け」に、当社運営のソフトバンク新宿が取り上げられました。

◆ 携帯電話市場の環境

国内端末メーカーの国内出荷台数が約3,327万台程度で推移する中、フィーチャーフォン（従来型の端末）に加え、スマートフォンやスマートパッドという新たなカテゴリーが創出され、主に海外メーカー製の端末が急速に普及しつつあります。移動体通信事業者の発売する携帯電話におけるスマートフォンの比重は高くなっていくものと推測しており、当社予測では、スマートフォンの販売台数は、NTTドコモ約700－800万台、KDDI約300－400万台、ソフトバンクモバイル約600万台の約1,600－1,800万台程度に達すると考えております。　※スマートフォン販売台数の予測年度は、移動体通信事業者の会計年度

携帯電話のデバイスとOSの進化により、より高い処理能力を持った端末の開発が見込まれます。加えて、通信インフラの高速化により、通信速度がより速い第３世代携帯電話以降の端末への買い替え特需が起こることが予想されます。

（出荷台数出典：JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）データより）

◆ ソフトバンクモバイルの動き

ソフトバンクモバイルは、モバイルインターネットを軸に加入者純増数を大きく伸ばしており、累積回線数では**2,400万回線**を超えております。2010年６月24日に発売したiPhone４は、その圧倒的知名度と製品の高い完成度から品不足になるほど高い人気があり、iPhone４は2011年も引き続き高い需要が続くものと考えております。

主力のiPhoneとiPadに加え、商戦期に向けた新たな携帯電話、スマートフォン及びスマートパッドの投入並びに新サービスの開始が期待されます。　（出典：TCA（社団法人電気通信事業者協会）データ、各電気通信事業者データより当社推計）

◆ ソフトバンクショップの動向

ソフトバンクショップは、約2,700店舗まで急増しましたが、店舗間の競争、不透明な経済環境と手数料条件の悪化により、大手販売会社への売却が行われる等、約2,500店舗台で推移しております。

今後も経済環境や手数料条件によっては、淘汰と合従連衡の流れは続くと思われます。

◆ ソフトバンクショップを巡る動き

（1）販売会社に求められる役割の高度化

ソフトバンクショップは、従来の端末販売型のモデルからの転換を求められてきております。

モバイルインターネットの大衆化により、スマートフォンの需要はさらに拡大すると思われます。ソフトバンクモバイルは、急増するデータ通信に対応する代替通信網（Wi-Fi）の構築が必要であり、販売会社にはFONルーターやホワイトBB等を普及させ、バイパス・インフラ構築のサポート役を担うことが期待されております。また、スマートフォンのデータ※ARPUは高いと考えられ、ソフトバンクモバイルにとっては収益向上のメリットは大きいと思われます。一方、販売会社にとってはスマートフォンの特性やユーザビリティを理解した上で付加価値提案型の販売を行うことが求められており、**ショップにおけるオペレーション負荷は従来よりも大きくなっております。**

また、多様な新商品群を展示するために、**より広い店舗への移転が不可欠**であります。スマートフォンを始めとする新商品や他社製品についての詳細な説明力がスタッフには問われると考えております。このためソフトバンクショップには、ハードとしての店舗規模の拡大、優秀な人材の確保、新たなる教育体制の構築が求められます。

販売会社とその販売現場における意識の変革と実行力が求められます。

（2）急増する累積回線数に伴うショップチャネルの重要性

ソフトバンクモバイルの累積回線数は2,400万回線を超え、同社のユーザー数が増大する中でキャリアショップチャネルは、ユーザーと密に接するため、**ブランドイメージやCS（お客様満足度）を左右する最前線**であります。

アフターサービス機能を担うキャリアショップの運営会社が果たす役割は、ますます重要なものとなってくると思われます。

（3）インセンティブ動向

販売会社は、ソフトバンクモバイルから次々と出される施策について、迅速かつ柔軟に対応していくことが求められております。ソフトバンクモバイルからのショップ評価のインセンティブは、これまでの量（新規販売台数）と質（※ARPU向上等）に加えて、**CS（お客様満足度）の向上、インフラ**（代替通信網／Wi-Fi、FONルーターやホワイトBB等）**構築への貢献**が対象となっているため、各店舗の総合力強化を図るように求められております。

当社は、これらをあらゆる指標で総合的に高めていくことがソフトバンクモバイルからの信頼と高い評価を得ることになり、結果的に高い手数料水準の獲得に繋がると考え、実行していく所存です。

※ARPU（Average Revenue Per User）：加入者１人当たりの月間売上高

✣収益性の高い販売網の構築

（1）スマートフォンブームの中でのM&A方針

ソフトバンクモバイルを扱う販売会社の2011年度におけるM&A案件は、少ないと予測されます。

・スマートフォンの先駆者であるソフトバンクモバイルは、積極的な攻勢に出ると思われ、４月以降の手数料条件は発表されておりませんが、販売台数の増加により一定の収益が見込まれるためM&Aの案件は少ないと思われます。

検討にあたっては、以下を大原則とします。

①財務の健全性を維持できる範囲に収める。

②やみくもに規模の拡大は追わない。

③過去の経験から赤字店舗の引き受けは、従業員の士気にかかわる。

④近隣自社店舗との補完関係の強弱をベースに**慎重に厳選する**。

（2）店舗の移転・改装

総販売台数を増加するためには、来客数の増加に繋げる店舗の移転及び改装が重要であると考えております。デフレ状況が引き続くと予想される厳しい経済環境は、好立地への移転の好機であると認識しており、立地の改善による来客数の増加とコストを勘案し、店舗の移転を引き続き検討してまいります。また、端末の多様化により今後想定される展示スペースの確保、接客カウンター数増加によるお客様の待ち時間の短縮、並びにキャリアショップのブランドイメージ向上を図るための店舗の大型化を検討してまいります。

⇒**都心店舗の大型化**は、**ソフトバンクモバイルのブランドイメージの向上に不可欠**であるため、これからも当社は、率先して都心店舗中心に移転改装を実施してまいります。

（3）FC店の拡販力強化と拡大

FC店舗に対して、当社の持ち合わせる販売ノウハウ、目標の共有化とソフトバンクグループからの情報共有等を実施してまいりました。今日では、ソフトバンクグループからも高い評価を得るまでに至りました。今後は、さらにFC店舗のサポート体制を強化してまいります。

✣販売の質とCS（お客様満足度）の向上

当社は、お客様のBest Mobile Concierge（ベストモバイルコンシェルジェ）を目標として掲げております。

（1）付加価値提案型販売の確立

新商品、新サービスに迅速に対応し、ソフトバンクグループの求める施策を早期に販売現場に徹底させ、提案型の販売によりお客様のニーズを掘り起こし最適なモバイル環境を提供いたします。

（2）お客様のサイドに立った店舗運営（CSの向上）

商品やサービスの知識、接客やコンサルティングの能力を高めるため、販売員に対する教育研修を行い、お客様が理解しやすい説明に努め、お客様視点での店舗運営に全力で取り組む所存です。

（3）ITを活用した業務効率の改善

店舗レイアウト及び業務手順の改善に取り組むとともに、ITの徹底活用により業務効率を高め、お客様の待ち時間を減少させることを目指します。

✣人材への投資

（1）優秀な人材獲得の好機

2010年度の新卒社員は、過去最大の**119名**が４月に入社いたしました。

2011年度も新卒は56名の採用を予定しており、新卒・中途社員問わず優秀な人材の獲得に努めます。

（2）社員教育の充実

教育研修の充実により、高い店舗オペレーションと販売の質を実現してきました。今後も、販売スタッフへの教育研修を拡充いたします。

■ 事業所

本社	東京都千代田区平河町１丁目４番12号
東海事務所	愛知県名古屋市中村区名駅５丁目５番22号
関西事務所	大阪府大阪市中央区安土町１丁目７番20号

■ 店舗網（184店）（2011年３月29日現在）

ソフトバンクショップ 181店　アップルプレミアムリセラー 1店　ウィルコムプラザ 2店

東海エリア（ソフトバンクショップ40店）

愛知県（13店）
ソフトバンク新瑞
ソフトバンク有松
ソフトバンクイオン扶桑SC　※2010年７月
ソフトバンクイオンモール新瑞橋 ※2010年３月
ソフトバンク池下
ソフトバンク春日井高山
ソフトバンク春日井西
ソフトバンク常滑中央
ソフトバンク中川昭和橋通
ソフトバンク美和
ソフトバンク守山吉根
ソフトバンク八事
ソフトバンク弥富十四山

静岡県（１店）
ソフトバンク浜松駅新町

三重県（６店）
ソフトバンク桑名大山田
ソフトバンク芸濃
ソフトバンク鈴鹿サーキット通り
ソフトバンク鈴鹿ベルシティ
ソフトバンク久居
ソフトバンク四日市生桑

岐阜県（１店）
ソフトバンク海津

FC店（19店）
静岡県（６店）
ソフトバンクイオンタウン磐田
ソフトバンクイオン富士宮SC
ソフトバンク伊東川奈
ソフトバンク掛川大池
ソフトバンク函南
ソフトバンク静岡瀬名

岐阜県（13店）
ソフトバンク西部
ソフトバンクイオン大垣SC　※2011年３月
ソフトバンク揖斐大野
ソフトバンク大垣中央
ソフトバンク大垣西
ソフトバンク岐阜大学前
ソフトバンク北方
ソフトバンク真正
ソフトバンク垂井
ソフトバンク土岐浅野
ソフトバンク長良
ソフトバンク美濃
ソフトバンクロックシティ大垣

関西エリア（ソフトバンクショップ27店）

大阪府（８店）
ソフトバンクイオンモール堺鉄川グリーンシティ
ソフトバンク江坂西
ソフトバンクJR久宝寺
ソフトバンクJR塚本
ソフトバンクスカイシティ泉南
ソフトバンク西長堀
ソフトバンク服部
ソフトバンクロックタウン東大阪

兵庫県（２店）
ソフトバンク板宿
ソフトバンク西宮北口

FC店（17店）
大阪府（３店）
ソフトバンク上本町
ソフトバンク長吉長原
ソフトバンク松原

京都府（３店）
ソフトバンク京都外大前
ソフトバンク五条西小路
ソフトバンク八幡市役所前

兵庫県（11店）
ソフトバンク芦屋南
ソフトバンクエコール・リラ藤原台
ソフトバンク三田
ソフトバンクJR西ノ宮
ソフトバンク夙川
ソフトバンク新長田
ソフトバンク垂水
ソフトバンク中山寺
ソフトバンク西明石
ソフトバンク西昆陽
ソフトバンク阪神西宮

北陸エリア（ソフトバンクショップ2店）

福井県（１店）
ソフトバンク若杉

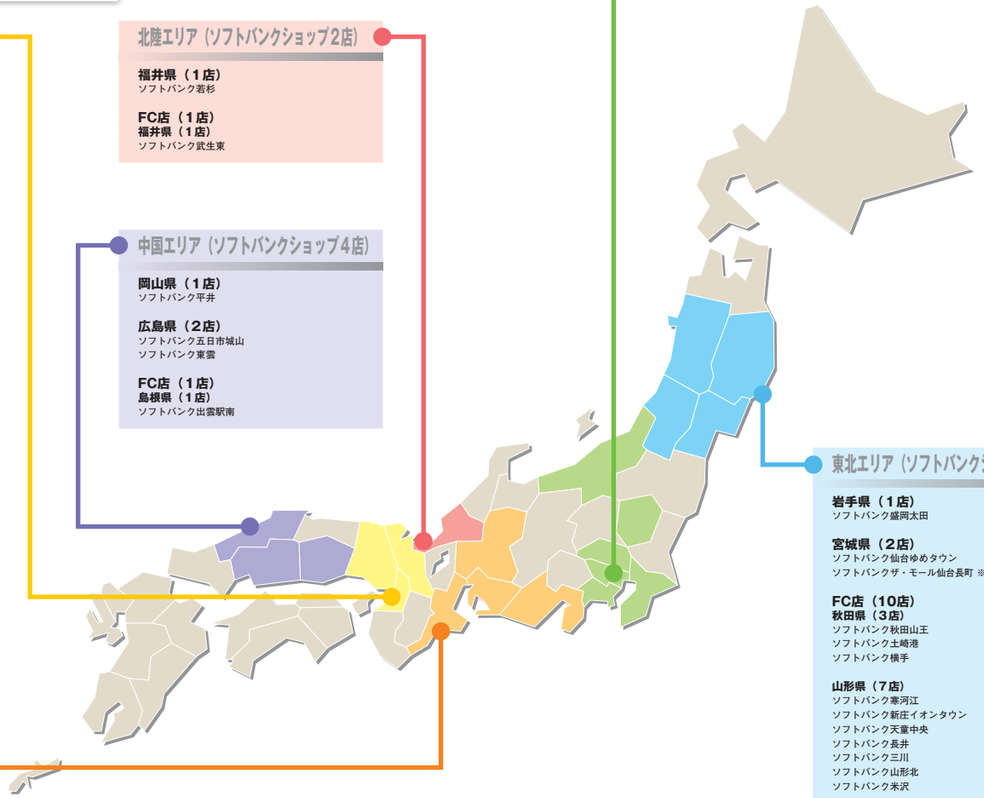
FC店（１店）
福井県（１店）
ソフトバンク武生東

中国エリア（ソフトバンクショップ4店）

岡山県（１店）
ソフトバンク平井

広島県（２店）
ソフトバンク五日市城山
ソフトバンク東雲

FC店（１店）
島根県（１店）
ソフトバンク出雲駅南



東北エリア（ソフトバンクショップ13店）

岩手県（１店）
ソフトバンク盛岡太田

宮城県（２店）
ソフトバンク仙台ゆめタウン
ソフトバンクザ・モール仙台長町 ※2010年11月

FC店（10店）
秋田県（３店）
ソフトバンク秋田山王
ソフトバンク土崎港
ソフトバンク横手

山形県（７店）
ソフトバンク寒河江
ソフトバンク新庄イオンタウン
ソフトバンク天童中央
ソフトバンク長井
ソフトバンク三川
ソフトバンク山形北
ソフトバンク米沢

首都圏エリア（ソフトバンクショップ95店・アップルプレミアムリセラー1店・ウィルコムプラザ2店）

東京都（47店）
ソフトバンク赤坂見附
ソフトバンク赤羽
ソフトバンク綾瀬
ソフトバンク飯田橋
ソフトバンク板橋
ソフトバンク市ヶ谷
ソフトバンク大井町
ソフトバンク大崎ニューシティ
ソフトバンク大森
ソフトバンク荻窪
ソフトバンク河辺
ソフトバンク蒲田東口
ソフトバンク上石神井
ソフトバンク北千住
ソフトバンクグリナード永山
ソフトバンク京王八王子駅前
ソフトバンク小岩
ソフトバンク高円寺
ソフトバンク三軒茶屋茶沢通り
ソフトバンク渋谷宮益坂
ソフトバンク下北沢
ソフトバンク石神井公園
ソフトバンク自由が丘
ソフトバンク十条
ソフトバンク新宿　※2010年７月
ソフトバンク新宿東口中央通り
ソフトバンク成城学園
ソフトバンク高島平
ソフトバンク多摩センター
ソフトバンク田町
ソフトバンク千歳烏山
ソフトバンク成増
ソフトバンク西大島
ソフトバンク西八王子
ソフトバンク八王子
ソフトバンク花小金井
ソフトバンク浜松町
ソフトバンク東久留米
ソフトバンク光が丘
ソフトバンク府中・分倍河原
ソフトバンク船堀
ソフトバンク町田中央
ソフトバンク三鷹東八道路
ソフトバンク明大前
ソフトバンクモリタウン昭島

アップルプレミアムリセラー吉祥寺ストア ※2010年１月

ウィルコムプラザ経堂　※2011年２月

新潟県（３店）
ソフトバンクアピタ新潟亀田
ソフトバンク桜木
ソフトバンク大学前

FC店（３店）
東京都（１店）
ソフトバンク東新宿駅

埼玉県（２店）
ソフトバンク南浦和駅前
ソフトバンク武蔵藤沢

千葉県（18店）
ソフトバンク柏
ソフトバンク柏・沼南
ソフトバンク勝田台R16
ソフトバンク鎌ヶ谷
ソフトバンク北小金
ソフトバンク佐倉臼井
ソフトバンク津田沼
ソフトバンク習志野成田街道
ソフトバンク野田
ソフトバンク船橋市場通り
ソフトバンク船橋駅前
ソフトバンクプレナ幕張
ソフトバンク南柏
ソフトバンク八千代台
ソフトバンクユアエルム成田
ソフトバンクラパーク千城台
ソフトバンクららぽーと柏の葉

ウィルコムプラザプレナ幕張　※2011年３月

埼玉県（15店）
ソフトバンク上尾駅前
ソフトバンク朝霞台
ソフトバンク大宮東
ソフトバンク川口
ソフトバンク北浦和
ソフトバンク久喜
ソフトバンク志木
ソフトバンク新所沢
ソフトバンクせんげん台
ソフトバンク所沢中央
ソフトバンク蓮田
ソフトバンク東大宮駅前
ソフトバンク三郷インター
ソフトバンクみずほ台
ソフトバンク南越谷

神奈川県（11店）
ソフトバンク飯泉橋
ソフトバンク北山田
ソフトバンク相模原R16
ソフトバンク鶴沼
ソフトバンクセンター北　※2011年３月
ソフトバンク茅ヶ崎駅前
ソフトバンク綱島
ソフトバンク日吉
ソフトバンク本厚木駅南
ソフトバンク溝の口
ソフトバンク宮前平

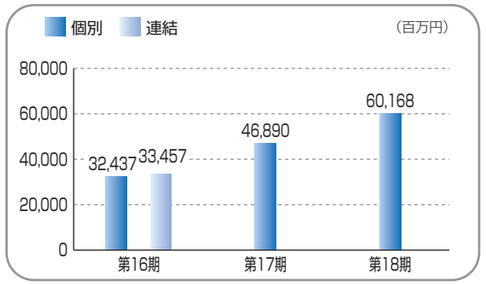
栃木県（１店）
ソフトバンク矢板

※当事業年度以降に運営開始した店舗であります。

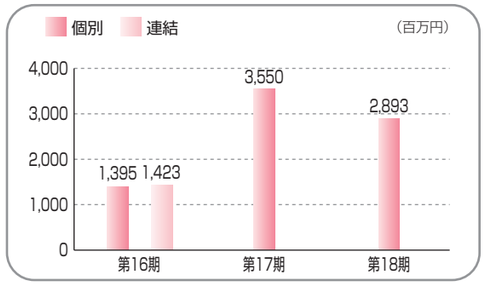
財務ハイライト

※第 17 期より連結財務諸表を作成しておりません。

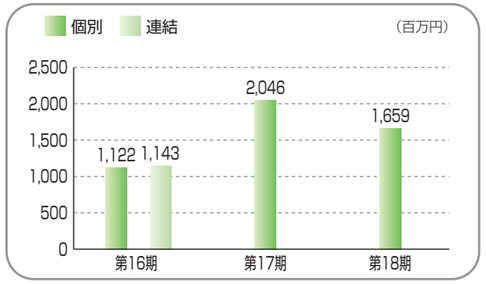
売上高



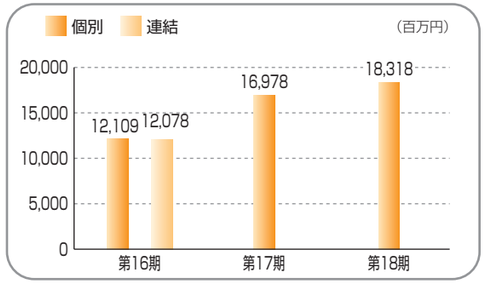
経常利益



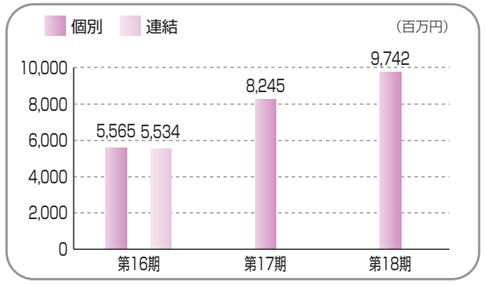
当期純利益



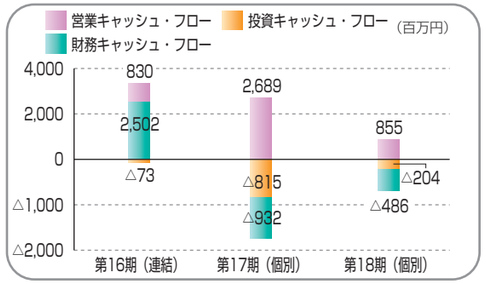
総資産



純資産



キャッシュ・フロー



（注）第16期は、連結財務諸表提出会社であったため、連結ベースの数値を記載しております。

要約財務諸表

貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目 ＼ 期別	第18期（2010年12月31日現在）	第17期（2009年12月31日現在）
資産の部		
流動資産	16,050,009	14,712,057
固定資産	2,268,127	2,266,228
有形固定資産	662,372	632,146
無形固定資産	204,445	271,600
投資その他の資産	1,401,308	1,362,481
資産合計	18,318,136	16,978,285
負債の部		
流動負債	7,765,832	7,627,837
固定負債	809,557	1,105,212
負債合計	8,575,389	8,733,049
純資産の部		
株主資本	9,742,746	8,245,236
資本金	1,129,806	1,123,904
資本剰余金	1,853,973	1,848,071
利益剰余金	6,758,966	5,273,259
純資産合計	9,742,746	8,245,236
負債純資産合計	18,318,136	16,978,285

損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目 ＼ 期別	第18期（自 2010年1月1日 至 2010年12月31日）	第17期（自 2009年1月1日 至 2009年12月31日）
売上高	60,168,357	46,890,962
売上原価	49,393,687	36,576,981
売上総利益	10,774,670	10,313,980
販売費及び一般管理費	7,869,324	6,737,296
営業利益	2,905,346	3,576,684
営業外収益	24,537	28,203
営業外費用	35,934	54,051
経常利益	2,893,949	3,550,836
特別利益	56,091	3,514
特別損失	39,584	37,078
税引前当期純利益	2,910,456	3,517,271
法人税、住民税及び事業税	1,228,815	1,549,914
法人税等調整額	21,921	△ 79,003
当期純利益	1,659,719	2,046,361

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目 ＼ 期別	第18期（自 2010年1月1日 至 2010年12月31日）	第17期（自 2009年1月1日 至 2009年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	855,172	2,689,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 204,368	△ 815,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 486,906	△ 932,937
現金及び現金同等物の増減額	163,897	940,613
現金及び現金同等物の期首残高	5,747,350	4,806,737
現金及び現金同等物の期末残高	5,911,247	5,747,350

第18期要約財務諸表　ポイント

▶貸借対照表　ポイント
- 総資産は、前事業年度末より1,339百万円増加いたしました。
- 純資産は、当期純利益の計上、並びに前事業年度決算に係る期末配当金の支払いにより、前事業年度末より1,497百万円増加し9,742百万円となりました。

▶損益計算書　ポイント
- 売上高は、前事業年度比28.3%増の60,168百万円となりました。
- 経常利益は、同18.5%減の2,893百万円となりました。
- 当期純利益は、同18.9%減の1,659百万円となりました。

▶キャッシュ・フロー計算書　ポイント
- 営業活動によるキャッシュ・フロー　+855百万円
  主な増加要因は、税引前当期純利益の計上、減価償却費の計上及び仕入債務の増加であります。主な減少要因は、売上債権の増加、たな卸資産の増加及び法人税等の支払いであります。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー　△204百万円
  主な増加要因は、関係会社株式の売却による収入及び敷金の回収による収入であります。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出及び敷金の差入れによる支出であります。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー　△486百万円
  主な減少要因は、長期借入金の返済による支出及び前事業年度決算に係る期末配当金の支払いであります。

株式の状況（2010年12月31日現在）

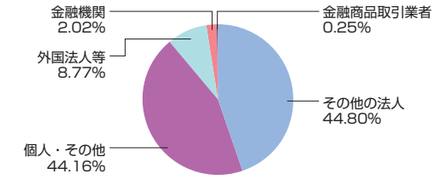
●発行可能株式総数	263,700株
●発行済株式の総数	67,060株
●株主数	4,832名

大株主（2010年12月31日現在）

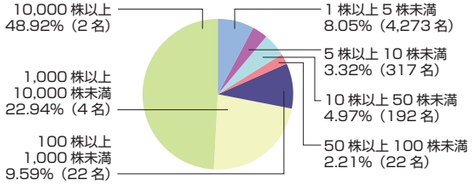
株主名	持株数（株）	持株比率（%）
株式会社日本ビジネス開発	17,550	26.17
西川　猛	15,259	22.75
株式会社光通信	9,296	13.86
ソフトバンクモバイル株式会社	2,385	3.56
メロン バンク エヌエー トリーティー クライアント オムニバス	2,300	3.43
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,401	2.09
エーエージーシーエス エヌブイ トリーティ アカウント タクサブル	707	1.05
エイチエスビーシー セキュリティーズ サービシィズ ルクセンブルグ エスエー	635	0.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	573	0.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	471	0.70

株式分布状況（2010年12月31日現在）

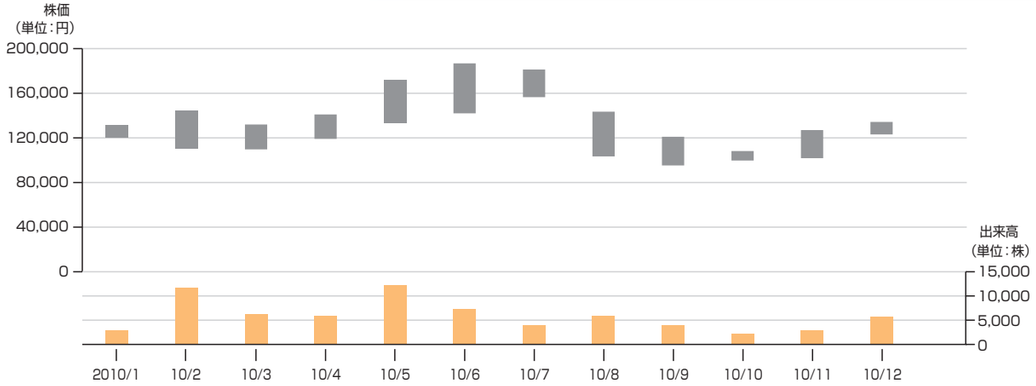
【所有者別】



【所有株式数別】



株価・株式売買高の推移（2010年1月～2010年12月）



会社概要（2010年12月31日現在）

商　　号	株式会社ベルパーク
英 文 表 記	Bell-Park Co., Ltd.
本 店 所 在 地	東京都千代田区平河町一丁目４番12号
設　　立	1993年２月２日
資　本　金	11億2,980万6,429円
決　算　期	毎年12月
主な事業内容	電気通信事業法による通信事業者の通信機器販売及び電気通信サービスの加入手続きに関する代理店業務
従 業 員 数	609名

役員構成（2011年3月29日現在）

代表取締役社長	西　川　　猛
取　締　役	竹　内　　顕
取　締　役	秋　田　芳　樹
常勤監査役	久　保　憲　一
監　査　役	齋　藤　邦　雄
監　査　役	山　川　隆　久

事業年度	毎年１月１日から12月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権　毎年12月31日 期末配当　毎年12月31日 そのほか必要があるときはあらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年３月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL　0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）
証券コード	9441
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aspir.co.jp/koukoku/9441/9441.html （ただし、電子公告によることができない事故その他やむをえない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

1．株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

3．未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店又は全国各支店でお支払いいたします。